



小松 正真 議員

一問一答方式

小友町外山地区 メガソーラー開発の 現状は

市長 現在も降雨の都度、濁水が発生している

問 事業者に対して、道路の修繕命令をだしているか。

答(市長) 事業者が送電線を埋設しており、路肩沈下部の盛土や仮舗装の沈下部の解消、既存舗装と仮舗装の段差解消等の補修を指導している。

問 道路・水路・河川の修復について、事業者責任で行わなくては行けない。市の負担がないと考えていいか。

答(市長) 基本的には、事業者責任で対応してもらおうことで交渉している。

問 市民は事業が信用できないと考えていると思う。過去の一般質問で、市民と事業者が向き合っているという市長が答弁している。市民の声をしっかりと聞いてほしい。

答(市長) 住民には事業者の説明が行われていると説明を受けている。市長と語ろう会でも経過報告を行っている。市民と同じ目線で事業者と向き合っていく。



開発現場近くの林の中、川がどこかわからない状態



工事開始1年半以上経過しても汚濁は続いている

指導は十分か

市長 対策は十分には言えない

問 濁水はいつごろまで続く見込みか。

答(市長) 事業者から示されたスケジュールでは、令和3年10月までに外山川の濁度を小友川と同程度にする旨確認している。

問 新たに第三者委員会を立ち上げる目的は。

答(市長) 濁水被害に関して有識者に参画してもらい、問題を早期に解決することに特化した委員会。事業者の濁水対策等に関する調査監視を行う、市に助言を行うことを目的としている。

問 委員会の立ち上げは、これまでの指導は専門的な根拠がなかったことの証明では。

答(市長) 濁水被害に関して有識者に参画してもらい、問題を早期に解決することに特化した委員会。事業者の濁水対策等に関する調査監視を行う、市に助言を行うことを目的としている。

答(市長) しっかりとした調査やデータ分析をして対応することが必要と判断して立ち上げた。

問 委員会に、小友町や柏木平地区の住民からも入ってもらうべきでは。

答(市長) 市民の皆さんと協議を重ねながら一つの目標に向かっていくわけであり、住民の皆さんには、これからも協力をお願いしていく。

問 本件に対して市長の想いを伺う。

答(市長) 市長として先頭に立って事業者と向き合っていく。

新型コロナウイルスに対する 災害時の備えは

市長 計画の通り準備を進めているところである

問 新型コロナウイルスの対策は確実に実行されているか。

答(市長) 市の避難所は、内閣府の指針に沿って準備されている。新型コロナウイルス対策として市対策会議を二回実施し、避難者の受入体制等の確認、設備の取扱訓練を行った。

問 指定避難所の準備と学校等での三密対策の指導点検はどのようになされているか。

答(市長) 現在、市独自の新型コロナウイルス対策を配慮した避難所運営のガイドラインを作成中である。マスクと手指消毒剤を行政区毎に配備済み。間仕切り用テント、簡

答(教育長) 学校での感染予防対策として二十五項目のチェックリストにより、児童生徒及び教職員への指導と点検を行っている。

易ベッドは購入手続き済み。フェイスシールド、防護衣などの購入もすすめている。

問 PCR検査は希望者が受けられる体制か。

答(市長) PCR検査は、感染者との接触が疑われる方もかかりつけ医に相談の上、全額公費でまかなわれ無料で受けることができる。

感染の疑いがない方は、公費負担が適用されない。国に対し、しっかりとした制度設計を求めていきたい。

老人介護施設の 水害対策の現状は

市長 災害対策の計画と訓練実施がされている

問 河川に近い老人介護施設、福祉施設の災害時の避難計画と避難支援はどのようになっているか。

答(市長) 土砂災害警戒区域にある施設は2施設。非常災害対策の計画、避難マニュアルは策定さ

れており、避難訓練も実施されている。各施設において、災害が予想される場合は、事前の注意喚起を促し、夜間等の避難とならないよう早めに対応していく。



7月12日 大雨警報発生時の太郎淵付近

